

## 資料の非公開処理事例

沖縄県公文書館 幸地 哲

### 1 文書

非公開部分をページ単位で中性紙によって袋がけする。中性紙の帯で包むこともある。紙上に「個人情報なので開かないください。」と表示する。(写真1)



(写真1)

### 2 写真資料

写真を網掛けし、薄めにコピーした代替物をアルバムに入れる。個人を特定できると思われる部分には墨塗りをする。「この写真はプライバシー保護のため、コピーで代用しています」のコメントを挿入。(写真2)

また、写真それ自体を閲覧用アルバムから抜き取り、プライバシー保護のため当分の間閲覧できない旨の表示を入れる処理もある。(写真3)



(写真2)



(写真3)

### 3 マイクロフィルム

リール単位とコマ単位の非公開処理あり。コマ単位は非公開箇所のあるコマをカットした後、カットしたコマとコマの間に「個人情報保護のため、ここから○ページを非公開としております。詳しくは職員におたずねください。BOX NO. FOLDER NO.」のクレジットを挿入し閲覧に供する。また、非公開箇所でもカットされたコマ部分は紙でプリントし、利用制限解除後の公開に備える。リール単位で非公開となったフィルム中に公開部分があればその部分を紙焼きして閲覧に供する。